

特 記 仕 様 書

- (1) 入札前に必ず、現場・仕様書・図面を精査し、施工方法等、異議・質問等があれば申し立てること。
- (2) 契約後、契約図面と起工測量との差異がある場合を除き、事後異議を申し立てないこと。
- (3) 工事実施前に起工測量を実施し、監督員と必ず数量等を報告し施工すること。
- (4) 数量変更については、監督員と十分協議すること。
- (5) 現場閉所による週休 2 日制適用工事（発注者指定方式）

土日完全週休 2 日制の定義

1 工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※ 1 として、原則、すべての土曜日及び日曜日を現場閉所日※2 とする。

※ 1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇（3 日間）」、「年末年始休暇（6 日間）」、「工事制作のみ期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災（豪雨、出水、土石流、地震等）に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。

※ 2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて 1 日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応などやむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日へ振替可能とする。

2 受注者は、契約当初に工期延長が必要となる場合は、実施工程表（任意様式）を提出し、監督員と協議のうえ、契約書第 21 条の規定による工期の延期変更を請求することができる。

3 受注者は月 1 回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。

- (5) 通行止め等の交通規制・施工時期・施工方法については、監督員、関係機関と十分協議をすること。
- (6) 土砂等運搬車両には、必ず工事名・業者名を掲げること。
- (7) 施工中の道路施設等の破損については、請負業者の責任において修復するものとする。
- (8) 環境に配慮し、工事車両等のアイドリングストップの推進。
- (9) 工事現場等の環境美化の徹底。(部分下請け業者にも徹底する。)
- (10) 特記なき事項については、三重県公共工事共通仕様書によること。
- (11) 本工事において、下請け契約を締結する場合には、当該契約の相手方を大台町内に本店を有する者の中から選定するよう努めること。
- (12) 受注者は暴力団員等による不当介入を受けた場合は断固としてこれを受け入れず、不当介入があった時点で速やかに警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。
- (13) 前項により警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
- (14) 受注者は暴力団等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
- (15) 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更対象とする。
- (16) 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成し、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にしたうえで計画し、協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。
- (17) 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。